



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

## 飯能ロータリークラブ会報

### 会長あいさつ

第五十八代会長 高橋 弘



国際ロータリー (Rotary International (RI)) 第2570地区飯能ロータリークラブ第58代会長としてごあいさつ申し上げます。

RI会長シェカール メータ (Shekhar Mehta) 氏の本年度のテーマは、「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために (Serve to change lives)」です。人のために生き (Live for others)、人の世話をし (Care for others)、人に奉仕する (Serve others) ことは、自らの人生における最善の途 (The best way) であることを強調し、もっと行動しもっと成長しなければならない (We need to do more. We need to grow more) とされています。とりわけ、奉仕活動について、多様性を尊重する観点を最重要ととらえていること、また、会員増強について、若い世代の増強を目指すことの重要性に焦点を当てつつ、会員各自が1人の新会員を連れてくること (Each One, Bring One) を提唱されていることが注目されます。

RI会長方針を受けて、水村雅啓第2570地区ガバナーは、「もっと夢を、もっと奉仕を (More dreams More service)」を地区スローガンとして掲げ、未来のあるべき地区、クラブの姿を真摯に描き、描いた夢の実現に向けて、奉仕プロジェクトを実行すべきとしています。

私は、上述のRI会長方針、地区ガバナー方針との調和を考慮したうえで、本年度の当クラブのテーマを「自立と尊重 (Independence and Respect)」とすることとします。多様性を尊重しつつ人に奉仕し、未来への夢を描くためには、まずもってみずからが自立し、会員が相互に尊厳ある個人として尊重し合う環境づくりが重要であると信ずるからです。

しかしながら、本年度は、依然として、コロナ禍が猛威を振るう特殊な状況にも配慮した行動をすべきです。そこで、その一環として、8月以降は、各月とも月3回の例会の内の1回を感染防止に向けたロータリー活動の一環として取り消すこととし、その代わりに、例会を全体会、委員会を分科会とイメージしていただき、各委員会活動の活発化を提案したいと思えます。少人数の委員会活動の活発化は、健康への配慮に役立つとともに、従来からの奉仕活動の持続化をはかり、会員相互の心のかよい合いを一層増幅させることにもつながるものと考えられるからです。そのうえで、会員各自が1人の新会員を推薦することができるよう、皆で力を合わせたいと思えます。

むすびに、第二次世界大戦後はじめてといわれるコロナ禍のパンデミックに遭遇したにもかかわらず、クラブの存続に向けたさまざまな工夫を試み、苦難を乗り越える努力を常に惜しまなかった田辺年度の取り組みには、深く感謝し、心から敬意を表します。本年度にあっても、こうした工夫や努力を惜しまぬ姿勢を継承するとともに、会長として、可能な限りのコーディネートに努め、会員の誰もがロータリアンであることに喜びを感じる事ができ、かつ、多忙な毎日の中にあっても寛ぎのひとときを共有できるような例会運営に力を注ぐ所存です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。以上

# 任期を終了して

第五十七代会長 田 辺 實



2020～2021年度飯能RC会長としての任期を終了するにあたり御挨拶申し上げます。

今年度のRI会長ホルガー・クナーク氏は「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマとして掲げ、2570地区ガバナー相原茂吉氏は「Let's make fellows! 友達をつくろう」とされました。これをふまえ、飯能RCのテーマは「我等のロータリー」とし3つの目標を掲げました。

1. 楽しい意義ある例会とし魅力あるクラブ作りをする
2. 職業奉仕を通じた地域への社会奉仕活動をする事
3. 仲間づくりをする事

これらの方針を達成すべく計画を立てましたが新型コロナウイルス感染の拡大による「緊急事態宣言」が発出され、臨時休会はもとより計画の実施はほど遠い状況でありましたが、森幹事を始め役員の皆様の御協力により、目標に向かって次の通り一步前進する事が出来ました。

- ①年会費を改訂(26万円を28万円に)し特別会費(42,000円)を廃止しました。  
(実質22,000円減額)
- ②細則の定めに従い祝日週を休会としました。(年間43回を36回に変更)
- ③例会方式を変更(10人テーブルを4人円卓に)し会員の交流を深めました。
- ④クラブ戦略計画委員会を新設し長期計画の立案及び提言を行ってもらい、ガバナー擁立を図る。
- ⑤例会において会員卓話3分を行い、親睦・友情を深める事としました。
- ⑥会長の時間を利用して職業奉仕のスキルを高める3分間スピーチを行いました。
- ⑦国際奉仕委員会により、姉妹クラブとの今後の対応について協議、現状維持とする事に決まりました。
- ⑧飯能ロータリークラブ3つの新規継続事業を立ち上げました。
  - ①第1回飯能RC杯 中学生卓球大会(カップ、試合球の贈呈) ロータリー財団補助金事業
  - ②第1回飯能RC杯 スポーツ少年団少年野球大会(カップ、メダル、試合球の贈呈)
  - ③飯能市環境学習用品給付事業に10万円寄付しました。
- ⑨細則変更準備委員会を設置し神田康夫委員長により細則の変更・補足を行いました。
- ⑩事務処理用新パソコンを5月導入し効率化・データ保存システムを図りました。
- ⑪会員増強では新入会員14名に入会していただきました。
- ⑫特別寄付14名(ロータリー財団7名、米山記念奨学7名)、多くの会員の御協力をいただき念願の地区目標を達成しました。
- ⑬新型コロナ感染防止対策を行いました。
  - ①検温・消毒の実施
  - ②夏用マスク2枚支給
  - ③マスクケース配布
  - ④アルコール消毒の配布
  - ⑤飛沫防止パネルの設置(64枚)
  - ⑥出席表、出席カード記入の中止(感染防止を図りました)

年初より恒例の委員長顔合せや座談会は中止となりましたが、10月に10名単位の炉辺会合を行いました。委員会別の委員会開催を要請し、計画の実施や今後について協議をするとともに親睦を深める予定でしたがコロナの為出来ませんでした。又、親睦旅行の中止にともない、6月例会で家族会を開催し親睦を深めました。一年間再三の臨時休会や書面理事会、テイクアウト等により、理事、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけし至りませんでした事、深謝いたします。御協力をいただきました会員の皆様又事務局に、謹んで心より感謝を申し上げ、退任のご挨拶と致します。